ウクライナへのロシアによる侵攻を糾弾し
直ちに軍事行動を中止することを求めます

2022 年３月２日
日本勤労者山岳連盟
会長　浦添 嘉徳

ウクライナへのロシアの軍事的侵略行為は、国連憲章、国際法を踏みにじるものであり、絶対にあってはならないものです。軍事攻撃によってウクライナで生活するすべての人々は生命を脅かされ、幼子までが犠牲になっています。

また、プーチン大統領は、核戦力を念頭に軍事侵攻を示唆する発言も行っています。核兵器の使用・威嚇も核兵器禁止条約で禁じられている行為です。

日本勤労者山岳連盟は、登山の正常な発展が戦争によって著しく阻害された歴史的な経験から、「平和と登山」を高く掲げ、平和であってこそ登山・海外登山ができることを主張しています。

私たちは、ロシアによるウクライナ侵攻を糾弾するとともに、軍事作戦を直ちに中止し、核戦力の威嚇を行わないことを強く求めるものです。

以上